

気分は三度笠 わらじに乗せたる身も軽く

地域の昔を知ろうと「柳島の歴史と民俗」講座が3月14日に座学、21日に歩いて実地見聞を行った。講師は茅ヶ崎郷土会の平野文明さん。座学に25人、実地見聞に24人が参加。いつも歩いている道、見慣れた街なのに新しい発見にワクワク、ドキドキした。

「地域の歴史を知ろう！」講座

まずは小出川添いの湘東橋へと向かった。春の暖かな日差しが水面に反射される絶好の見聞日和だ。湘東橋は昔は「矢島橋」と言って柳島村に入る唯一の入り口だったとか。橋を渡って一本西側の道を下ると「観音霊場巡拝塔」という石塔がある。江戸末期に造られた墓石の形をした古い塔で、うっかりすると見逃してしまう。「天下泰平 國土安全」と彫られている。藤間柳庵の書と説明された。この塔のある道を河岸道（かしみち）と言い、昔は柳島村のメインストリートだったとか。三度笠をかぶった村人が草鞋（わらじ）を履いてスタスタと歩いて行く姿が夢想された。

少し歩いて善福寺に着いた。1452～54年の創建と伝えられる古い寺院である。境内に「相模国準四国八十八ヶ所」の弘法大師像が2体並んでいる。



2体ある弘法大師像を解説する平野講師

四国は遠方なので寒川、茅ヶ崎、藤沢の各寺を指定して巡礼お遍路さんツアーの代わりとしたようだ。準四国札所 38番善福寺のものと、廃寺の同札所 39番地蔵院にあったものを並べてある。

柳島の昔を歩く



小出川沿いの堤防跡をマイクで説明する平野講師

次に寺から数分歩き柳島本村の鎮守・柳島八幡宮へと足を向けた。この神社の拝殿の彫刻が素晴らしい。八幡宮の祭神は誉田別命（ほむたわけのみこと・応神天皇）と神功皇后です。絵柄は武装した神功皇后と皇后から生まれたばかりで産着に包まれた誉田別命を抱く武内宿禰（たけしうちのすくね・神功皇后の功臣）だそうです。彫刻が作られたのは空襲で焼けた社殿を再興した昭和32年。作者は江口裕泰とある。

小舟が行き交った柳島湊

その後、藤間温泉跡、地頭屋敷跡などの史跡を廻り、ポンプ場、柳島湊跡へと向かった。ポンプ場のあたりは住宅地になっているが江戸時代～明治初期は湊があった。「昔はここで小船の荷物の積み卸しが行われていました。沖で待つ400石積み回船まで運んだそうです」と、講師の平野さん。長老の青木昭三さんは「海で泳いで新川（松尾川）で潮を流したもんだ。しじみも採れたんだよ」と昔を偲んでいた。



柳島八幡宮拝殿の彫刻



酔いしれた5時間の歌合戦

【3月21日 カラオケ交流会】大会議室にて2020年以来4年ぶりに第2回目が開催された。出演者23名、観衆は20名、合計53名が歌合戦に酔いしれた。美空ひばりなどの演歌から谷村新司のポップスまで幅広く歌われた。最優秀歌唱賞に中島自治会の根岸正浩さん、次点にベルパークの吉沢明子さんが輝いた。また、独特の歌い方で笑いを取ったベルパークの内山弘紀さんがユーモア賞を勝ち取った。

ハーブでうがい薬、入浴剤などつくる

【5月25日 エキナセアのチンキ剤作り】講師はアロマ・ハーブ研究家の立原美佐子さん。エキナセアとは北米原産のキク科のハーブで、チンキとはそのハーブの有効成分を度数の高いアルコールで抽出する方法です。免疫機能を高めたり抗菌作用があるため、うがい薬など用途は広い。マウスウォッシュや入浴剤など幅広く活用できる。講師の明るい笑い声とハーブの知識を織り交ぜ、参加者は楽しくチンキ剤を作って帰った。



簡単でおいしいエスニック料理

【6月12日 料理講習会】神保貞子さんを講師に迎え7名で執り行われた。「大豆ミートのガパオライス」「ミネストローネ」など4点のランチを料理した。東南アジアなどで食されるエスニック料理。野菜をたっぷり使い栄養のバランスもいい今流行のメニューだ。レストラン並の味で皆さん大満足。「これだけの味なら平日ではなく、土日祭日にやれば生徒もいっぱい来るはず」という声しきりだった。



くす玉に「何の願いを込めようかな」

【6月25日 大人の折り紙教室】大会議室にて講師に中山里美さんをお迎えして恒例の教室が開催された。参加者は10名（当日申し込みの男性1人を含む）。手順書を見ながら折ってゆくのだが、これが簡単にはいかない。ご年配の方が多く、小さく折り重ねるのが大変な作業で、かつ繊細な部分だったりする。両面テープをはがすのにも苦労した。それでも七夕様に向けての「くす玉」完成が近づいてゆく。参加者は目を輝かせ、「できた、できた。何の願いを込めようか」と笑顔が弾けた。



新鮮野菜に盆栽、ちらし寿司も

【6月29日 コミセン朝市】前日の大雨が止み、厚い雲からたまに薄日がのぞき絶好の朝市日和となった。5グループが4張りテントの元で新鮮野菜、お菓子、加工品などを並べた。近郊から採れた空豆、ジャガイモ、白なす、サニーレタス、トマトなどが並ぶ。お店で買うより安くて新鮮な野菜は始まると同時に売れていった。今回はちらし寿司50食分を限定で販売、さらに茅ヶ崎盆栽会さんが初出品。キッチンカー、生バンドも彩りを添えた。会場は熱気に引き寄せられた200人近くの来場者で盛り上がった。